



平成25年3月に、下通アーケードに設置された浸水サイン。アーケードの両端を結ぶと、当時の水の高さがわかる

一方人口規模でみると、平成25年4月1日現在で世帯数1660、人口2864人で、熊本市中央区の19の小学校区では最小となっています。

「そんな城東校区は、昭和28年の「6・26大水害」では、白

華街の防犯組織で、県下でもいち早く昭和40年から活動を開始。

最大の繁華街をすっぽりと包んでいるのが城東校区です。上通、下通、安政町、駕町通り、銀座通り、中央街、新市街など、賑やかな商店街が校区の中に含まれています。また、都市型ホテル、デパートなどの大型商業施設、娯楽施設、各種公共施設、金融機関のほか、熊本市役所・中央区役所も校区内にあり、まさに熊本市の心臓部と言えるでしょう。そのため、多くの人とモノが行き交う校区です。

「パトロールには、地域の私たちだけでなく、警察も参加していただいています。これだけ人の出入りが多く、商店の集積した地区を住民だけで見回すには無理があります。警察に協力していただいて、官民一体となつて行うことで効果を上げてきました」と河野さんは言います。

実際のパトロールには、違法な呼び込み行為や、通行の妨げとなる看板の発見、違法な駐輪の防止など、防犯面だけでなく環境面からの点検も含まれています。夜間の街頭パトロールには、校区の防犯協会のメンバー10人ほかに、熊本北署、花畑交番さらには熊本市役所・中央区役所からも応援を得て、総勢20、30人が参加しているそうです。

「安全安心」への意識が高い 熊本市の「顔」

最大の繁華街をすっぽりと包んで



大水害を乗り越えてきた 熊本の心臓部

熊本市を代表する市街地、上通、下通商店街。全国有数のアーケード街で、日々、さまざまなイベントも開催されている

川が氾濫し白川に架かる安巳橋、代継橋など、ほとんどの橋が流失、下通や三年坂などの中心商店街が大量の泥水に浸かるという大災害を経験しました。そのため、『安全安心』について地域の人たちは強い関心を持って「パトロール」と城東校区自治協議会の河野力三会長は言います。

現在では「みんなで明るい住みよい町を作ろう」のスローガンのもと、日々の見守り活動のほか、定例会での情報交換や夜間街頭パトロールを毎月欠かさず行っています。



校区を見守る神社の一つ「手取天満宮」。学問の神様として、受験シーズンには、熊本市外からも多くの参拝客が訪れる